



# 大谷地だより

Vol.71

発行  
北星学園大学同窓会  
札幌市厚別区大谷地西2-3-1  
TEL (011) 891-2731  
発行責任者 松倉千春  
編集責任者 事務局編集委員  
印刷 北海道リハビリ



松倉千春 会長



酒井玲子 学園長

## 同窓会総会・懇親会報告



大山綱夫 理事長

去る10月18日、2013年度の北星学園大学同窓会総会・懇親会がロイトン札幌を会場に開催されました。当日は、16時半から2階リジェントホールにおいて、定期総会が行われ、松倉会長による開会の挨拶の後、議長に中村一寛さん（1971年経済学科卒）、書記に大野秋奈さん（2009年生活創造学科卒）を選出し、次の2議案について協議されました。



田村信一 学長

議案1「2013年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」は、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案どおり了承されました。また、議案2「2014年度活動計画・会計予算について」も、原案どおり了承されました。

総会終了後、3階ロイトンホールに会場を移して懇親会が開催されました。酒井玲子学園長により、讚美歌斉唱と聖書拝読がなされ、最後に祈祷が行われました。その後、松倉千春同窓会会長、田村信一学長の挨拶、大津忠行常務理事の乾杯で宴を開始しました。大学と短大の各学科の同窓会会員をはじめ、退職された教員の石川恒夫先生、忍博次先生、三宅章介先生、米本秀仁先生がご出席くださいました。現職の教職員の方にもご出席いただき、旭川、帯広、北見、釧路、東京、千歳、函館の各支部からも支部長、副支部長、支部幹事の方々がご出席くださり、全体で150名近い出席者となりました。

懇親会の中では、招待教員としてお招きした大山綱夫理事長にご挨拶をいただきました。その後、今年度の同窓会表彰授与が行われ、同窓会活動に長く寄与された千歳支部の浦靖宝さんが表彰され、松倉会長から表彰状と記念品が授与されました。続いて、今年度奨励生4名の紹介がなされました。

### 新入会員の 方々へ

### 卒業おめでとう

— 本質を見極める力を —

同窓会長 松倉 千春



役員表彰

北星学園大学、短期大学部を卒業し、学位を取得された皆さんに心からお祝い申し上げます。

さて、皆さんご存知の通り、我々は今、かつてない大きな変化の時代の渦中にいます。今日の社会の様々な大きな出来事に目を向ける時、解決に向けて取り組むべき課題が山積みとなっています。地域的規模の課題では、エネルギー、地球環境などの持続や食料、医療、健康など、人類として取り組むべき事柄等です。

一方、国内では、少子高齢化に伴う医療、福祉、労働人口の減少や社会保障などの問題、さらには財政悪化に伴う雇用対策、安全安心の確保など、様々な課題があります。これらの課題に取り組みながら我が国の成長力をどのように図るかが緊急の課題です。

昨年、多様で激変する社会にあつては、物事の本質や大きな動きを見極め俯瞰する能力が求められています。世界規模で社会構造の急速で大きな変化が日々進行する中、短期的な先を見極めることは極めて困難であり、様々な場面でリスクを分散しながら、対応することが求められます。変化する社会を読み取るためには、日々、諸情勢を認識す

る力、具体的には、情報を収集し、解析、判断する力に身をつけることが重要となります。社会の長期的な大きな動向を知ること、それらに対応する力を身につけることが重要です。皆さんが北星で学んだ学術の基礎を基盤とし、更に学び続けることによって、物事の全体像を把握し、その動きの根底にある本質を見定めていただきたいと思います。

今回、同窓生となられた皆さんと大学との関係から関係ですが、母校である北星の未来は皆さんの活躍にかかっています。皆さんの活躍が、母校の名を高らかに響かせること、北星の建学の理念である「人々と共に生きる心を養

い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献する」を実践することにより、地域を担う大学として北星の評価は高くなります。良い大学にはより良い学生が集まります。また、大学は大学内だけでは無く、卒業生からのフィードバックが不可欠な要素となります。

最後に、同窓会は皆さんをバックアップするための様々な取り組みを用意しています。積極的に同窓会（各支部会）に参加していただきたいと思ひます。そして北星の卒業生として新しい絆を一緒に築き上げていきましょう。北星を巣立つ皆さんは、北星で学んだことを誇りとし、社会に貢献する決意を新たにしてください。自己実現に向けて大いにチャレンジされることをご期待します。



# 初めての同窓会懇親会

北星学園理事長 大山 綱夫

昨秋10月北星学園大学同窓会懇親会へ初めて出席させて頂きました。翌月には東京支部懇親会へもお招き頂きました。懐かしい同窓生の皆様、このような形で再会出来るようとは思っていませんでしたので大変嬉しく、素晴らしい場を設定して下さいました関係者の皆様に感謝申し上げます。

私は1965年から16年間短期大学で教え、週に一度は併任として大谷地にも出講してましたので、私の講義やゼミを受けた方々は、両校合わせてかなりの数になる筈です。しかし、1981年札幌を離れ東京の恵泉女学院(北星女学校第3期生河井道が創立)へ転じてからは同窓生の方々にお会いする機会は少なくなっていました。それでもお会いすれば、札幌のキャンパスの日々や、教職員の思い出や、同窓生の消息などを懐かしく語り合ったものです。



また恵泉で或る契約を結んだ相手企業の担当責任者が北星出身と分かった時には奇遇を喜び合ったこともありまし

この度33年ぶりに北星に戻り、同窓生が道内はもろろん国内外で活躍していることを伺い、また同窓会が堅実な組織として同窓生を束ね、北星教育の維持・発掘のために重要な役割を果たしていることを知り、最初の職場として北星に関わった人間として、深い感慨を覚えると同時に誇らしく思いました。

札幌の会場では、草創期の石川恒夫先生や忍博次先生や米本秀仁先生(当時は学生)にお会いでき、久しぶりの歓談のひとつとなりました。その間じゅう草創期の苦労も思い起こしておりました。大谷・短大双方の同窓生(すでに引退された方々も!)からも声をかけて頂きました。なかには私の講義を、テキストのタイトルまで一緒に覚えていて下さった方もいました。頂いた名刺や、卒業後の歩みの報告から、大学・短大とも同窓生の活動分野が実に多岐にわたり、「地の塩」ともいえるべき大切な内実を伴ったものであることを知り感銘を受けました。また出席同窓生のな

かに現・旧教職員がいたことも力強く思いました。教職員の中には一定数の同窓生がいることは、特に固有の建学の精神を持つ私学にとって伝統継承上、さらに同窓会と学園をつなぐ意味でも大切な役割があると考えます。東京支部の会には関東圏から同窓生が集いました。同窓生の今までの歩みや現在の活動ぶりには、札幌の場合と同様、「これぞ北星!」との感を深くしました。また開会礼拝で用いられた讃美歌(285番)と聖句(詩篇27篇1節。ローマの信徒への手紙5章1-5節)は大変印象深いものでした。折しも大学が外部からの理不尽な脅迫を受け対応に苦しんでいた時であり、讃美歌の歌詞・聖句とも学園への熱い励ましと受け止めさせて頂きました。心から感謝申し上げます。

最後にになりましたが、同窓会のみならずのご発展と、同窓生の皆様のご健勝をお祈りしております。



## 収支決算・次年度予算報告

【通常会計】  
<収入の部>

費目	予算	決算	備考
前年度繰越金	0	0	預金(8,306,136)、現金(30,744)
同窓会費	22,180,000	22,260,000	@20,000×1,113
総会懇親会費収入	450,000	359,000	@3,000×97、@1,000×68
プロジェクト	60,000	68,230	コンサート・講演会等募金
利息等	5,000	18,488	定期預金利息
雑収入	0	124,000	ご祝儀、幹事懇親会費
合計	22,695,000	22,829,718	

<支出の部>

費目	予算	決算	備考
I. 事務費	5,100,000	4,020,771	
1. 会議費	550,000	424,295	支部長会議、幹事会 他
2. 交通費	4,000,000	3,195,120	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他
3. 通信費	200,000	172,355	振込料、ハガキ・切手、慶弔電報
4. 物品費	150,000	172,144	事務消耗品
5. 印刷費	200,000	56,857	リソグラフ、コピー機使用代
6. 雑費	0	0	同窓会会費返還 なし
II. 事業費	18,606,000	17,403,303	
1. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2. 行事費	5,000,000	3,958,012	卒業生記念品(1,003,022)、懇親会(2,576,690) 他
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書
4. 補助費	5,236,000	4,774,694	各支部補助(4,437,000)、英研・学祭・体育祭補助 他
5. 奨励費	200,000	200,000	@50,000円×4名
6. 会報発行費	5,700,000	6,781,555	大谷地だより69号、70号印刷代・郵送料 他
7. 業務委託費	70,000	10,000	懇親会司会者謝礼
8. プロジェクト活動費	1,500,000	779,042	講師交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄附	500,000	500,000	北星学園創立100周年記念館運営
III. 50周年特別事業	1,500,000	980,700	本旗及び支部旗(756,000)、手揚げ付きクリアファイル(224,700)
IV. 予備費	825,880	0	
V. 資金積立金	5,000,000	0	
VI. 次年度繰越金	0	0	預金(8,714,900)、現金(46,924)
合計	31,031,880	22,404,774	

【活動資金積立会計】

活動資金積立	2012年度	利息	当期積立額	2013年度	備考
合計	64,665,595	20,404	0	64,685,999	

## 2014年度 会計予算

【収入の部】

費目	予算	備考
前年度繰越金	8,761,824	預金(8,714,900)、現金(46,924)
同窓会費	23,060,000	@20,000×1,153
総会懇親会費収入	390,000	@3,000×130名
プロジェクト	65,000	コンサート・講演会等募金
利息等	15,000	定期預金利息
雑収入	0	
<収入計>	32,291,824	
【支出の部】		
I. 事務費	5,050,000	
1. 会議費	550,000	支部長会議(60,000)、幹事会(90,000)、役員打ち合わせ(230,000)、慶弔(50,000) 他
2. 交通費	4,000,000	幹事会等(210,000)、総会等派遣:本部(1,400,000) 支部(600,000)、支部長会議(300,000)、会長交通費(600,000) 他
3. 通信費	200,000	振込料(30,000)、ハガキ・切手(60,000)、慶弔電報(30,000) 他
4. 物品費	200,000	事務消耗品 他
5. 印刷費	100,000	同窓会案内作成 他
II. 事業費	17,987,000	
1. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)
2. 行事費	5,000,000	卒業生記念品(1,000,000)、懇親会(3,300,000)、退職者記念品(150,000)、永年表彰金(100,000)、奨励金の集い(100,000) 他
3. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫
4. 補助費	4,737,000	各支部補助等(4,237,000)、英研・学祭・体育祭(400,000) 他
5. 奨励費	200,000	@50,000×4名
6. 会報発行費	6,000,000	印刷代(1,070,000)、郵送料(3,230,000)、封入作業・封筒作成(1,400,000)
7. 業務委託費	50,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他
8. プロジェクト活動費	1,000,000	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄附	600,000	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)、北星余市高 他
III. 予備費	1,254,824	
IV. 資金積立金	8,000,000	前年度積立(5,000,000)、今年度積立(3,000,000)
V. 次年度繰越金	0	
<支出計>	32,291,824	

## 北星学園大学の学生と山崎製パンとのコラボで「ランチパック」を商品化!!

2014年11月に、北星学園大学の学生と山崎製パンがコラボして、北星の特徴を生かした「ランチパック」が商品化されました。こちらの企画は山崎製パンが様々な大学とコラボし、各大学の特徴を生かした商品作りをしていくもので、関東や関西の大学ともコラボしてきた実績がありました。今回北海道では北星学園大学を含めた4つの大学(北星・北海道大学・小樽商科大学・武蔵女子短期大学)がコラボしました。学生たちは、製品作りからパッケージのアイデアまで開発の全てに携わって、納得いくまで、試行錯誤を重ねて探求し、北星学園大学として個性豊かな「キャンパスランチパック」を完成させました。こちらの商品はメディアでも取り上げられ、どさんこワイド179、FMノースウェーブ、STVラジオなどで紹介されました。こちらの放送をご覧になった方もいらっしやるかと思えます。

製作には、北星生協学生委員が中心となって、学食で一番人気の「チキン竜田揚げ丼」をイメージした商品を作り上げました。名称は「チキンの竜田揚げ風」ネギし「うゆだれ」というものでした。残念ながらすでに販売期間は過ぎてしまいましたが、同窓生の中には、北星生協学生委員が中心となって、学食で一番人気の「チキン竜田揚げ丼」をイメージした商品を作り上げてもらっしやる本学OBの山本丈博さんから同窓会事務局に「すでに関東・関西などともコラボしているが、北星学園大学として北海道



内の4大学のひとつとして、ぜひ母校とランチパックでコラボしたい」という強い思いを寄せていただいた末に実現しました。同窓会事務局としてもその思いに応えるべく微力ながらも大学との橋渡しをさせて頂いていただきました。

同窓生と母校との繋がりを設け、学生に広い視野を持つきっかけ作りが出来たことは同窓会としても非常に嬉しいことでした。これからも同窓会には同窓生と母校の繋がりを大切にして、活動を行ってまいります。

支部だより

旭川支部 平成26年度 活動を顧みて

旭川支部長 上杉 信一
御卒業おめでとう御座います。本日より皆様は、学業を離れ、責任ある一人個人として果敢に荒波に向って欲しいと先輩の一人として切に願っております。さて同窓会旭川支部の活動についてですが、会誌として年一回サマリアンを発行し、同窓会の総会、懇親会の案内をさせて頂いておりますが、旭川支部は北星学園大学同窓会の中で全国で一番先に発足した支部で設立33年をかね約440名いる会員に近況を伝えています。



帯広支部 帯広支部30周年 記念祝賀会

帯広副支部長 成田 啓介
2014年9月7日(日)帯広支部設立30周年定期総会・記念祝賀会を帯広市内「北海道ホテル」で行いました。同窓会本部より松倉千春会長他4名、各同窓会支部から7名、後援会からは、深澤秀則会長他1名、大学からは田村信一学長をはじめ15名、支部会員30名の参加となりました。例年は40名前後の参加者ですが、記念祝賀会とあって、多くの関係者や同窓生にお集まりいただきました。



最初に斎藤彰彦会員より、讚美歌312番を皆様で歌い、詩編23編の朗読から始まりました。樋渡喜久雄帯広

26年度は、社会福祉学部牧田浩一先生に小講演会をして頂きました。先生は英国のロンドンで暮らし、文化、教育事情などの興味深い話、又貴重な家族の体験など楽しくお話を聞かせて頂き、約20分の有意義な話は今も心に残っております。

北見支部 本年度の北星学園 大学同窓会北見支部の活動について

北見支部長 三浦 鶏一
当支部は、昭和61年12月に設立され支部としては3番目の歴史を有しておりますが、管内面積が広大なこともあり、支部全域から総会・懇親会への参加については、困難な面があります。

30周年というところで、特別な企画をご用意し、満足して、来年以降も参加していただけるようにと考えました。その企画とは、①十勝で津軽三味線の活動をしている「加藤流三三味線」によるステージ。迫力ある三味線や歌声は、食事を忘れるくらい？観ていただき、楽しんでいただけたと思います。②十勝の農産物や加工品が参加者全員に当たる抽選会。これは、支部長の発案で、せっかくの記念祝賀会、十勝らしさを味わう、皆様に喜んでいただこうということで決まりました。じゃがいもの詰め合わせ、そばセット、チーズ等数十種類の十勝名物が参加者に当たり、会場は大いに盛り上がりしました。



結びに上杉信一旭川支部長より、締め挨拶をいただき、閉会しました。これからも多くの関係者や同窓生に参加していただけるように努力してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

その後、会員の方々の近況報告など楽しい一夜を過ごす事が出来ました。今後については、大学の最大の協力者として鋭意努力致しますので、機会がありましたら旭川支部への参加をよろしくお願い致します。

東京支部 東京支部は 元気です!!

東京支部長 遠田 嘉憲
昨年の11月8日、東京支部の27回目の総会・懇親会が開催されました。大学からは田村学長をはじめ原島経済学部長、鈴木文学部長、そして同窓会からは松倉会長と有澤幹事にご出席いただきました。また、今回は、東京支部として大山理事長、忍元社会福祉学部教授、大津常務理事をお招きし、支部会員30数名の参加のもと、本当に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

また、今回の総会・懇親会では、大学の現況等について学長のお話を聞ききたいという要望を受け、田村学長に「北星学園大学の現状と未来」についてミニ講演をお願い致しました。北星学園大学が卑劣な脅迫を受け、大学の自治と民主主義が大きな問題となっている状況を反映し、参加者

函館支部 2014年 函館支部の活動

函館支部長 知中 博史
2014年の函館支部の総会・懇親会は、今年度初めて時期を変更して晩秋の11月8日に開催し、同窓生17名、同窓会本部より鈴木幹事、駒ヶ嶺幹事、佐藤幹事の3名、大学より演習学長をはじめ3名の教職員の方々の参加で楽しい時間を過ごしました。



釧路支部 学び

釧路支部長 榑部 武俊
過日、本学の故三吉昭先生(知らない方のほうが多い)が後輩にあたる先生に贈った色紙を拝見する機会があった。そこには「汝、学びて確信したる所に常に居れ」という言葉が書かれていた。調べてみると聖書の一節のようだった。私は、入学式と卒業式だけしかチャペルに行かなかったが、キリスト教の授業は「言っていることがわからず」寝ていただけのクワタラな非クリスチャンであるが、還暦を過ぎた今、この言葉は心に響く。クリスチャンである方にはもっと深い意味があるのだろう。この瞬間も進んでいる本学を取り巻く外圧は「現実路線」と「建学の精神」とが相反するにわが内圧であることを知るに至った。ふわふわしたイメージ、偏差値が云々という大きな大学になる過程で身に付けてきたかもしれない泡のようなものを洗い落とす機会かもしれない。教授会・理事会だけで物事は進まない。学生や同窓生や地域に開かれ信頼し向き合い、支援の循環ある大学へと進むこと、同窓生となる卒業生諸氏が大学へまなざしを向けていただくことを願って止まない。卒業おめでとう!

行ったことがなく、キリスト教の授業は「言っていることがわからず」寝ていただけのクワタラな非クリスチャンであるが、還暦を過ぎた今、この言葉は心に響く。クリスチャンである方にはもっと深い意味があるのだろう。この瞬間も進んでいる本学を取り巻く外圧は「現実路線」と「建学の精神」とが相反するにわが内圧であることを知るに至った。ふわふわしたイメージ、偏差値が云々という大きな大学になる過程で身に付けてきたかもしれない泡のようなものを洗い落とす機会かもしれない。教授会・理事会だけで物事は進まない。学生や同窓生や地域に開かれ信頼し向き合い、支援の循環ある大学へと進むこと、同窓生となる卒業生諸氏が大学へまなざしを向けていただくことを願って止まない。卒業おめでとう!

から、今後は毎年参加したい、支部の役員を受けることを前向きに検討しますなどの発言がされる一幕もあり、役員一同大変頼もしく感じました。参加された同窓生の方それぞれが学生時代を思い出し、懐かしんだひと時でした。そしていつものとおりビンゴゲームで盛り上がり、参加者全員に一言ずつお話をさせていただき、今後は函館支部を盛り上げていこうという思いを一つにして終了しました。

千歳支部 新千歳空港温泉で総会・懇親会

千歳支部長 二ツ川憲昭
昨年、当支部では、支部会員の職場訪問活動を行っております。その中で、新千歳空港の管理運営を行っている北海道空港(株)勤務の職員(支部会員)のご協力を得て、「新千歳空港温泉」で本年の定期総会・懇親会を開催(写真)いたしました。

新千歳空港4階には温泉(弱アルカリ性塩化物泉)があり、ゆつくり休める休憩室や安眠ルームのほか宿泊設備も整っており、居酒屋顔負けの安くて美味しい料理も味わえるなど、飛行機利用者以外も十分楽しめる施設が充実しており、12月に開催した当支部

の熱心にメモを取る姿が印象的でした。2015年度の東京支部総会・懇親会は、私学会館のアルカディア市ヶ谷に場所を移して、11月28日(土)に開催する予定となっております。新しい試みとして、ハワイアン演奏を計画しており、皆さんのご参加をお待ちしております。また、今年度は、2年後の東京支部30周年記念事業の検討委員会も発足します。

今後とも、同窓会東京支部が持続的に発展するよう、私たち幹事一同も力と知恵を出し合って努力する所存ですので応援下さい。

2015年度 支部総会・懇親会予定
旭川支部 8月29日(土)
帯広支部 9月5日(土)
北見支部 8月30日(日)
東京支部 11月28日(土)
函館支部 9月12日(土)
釧路支部 9月6日(日)
千歳支部 12月5日(土)
※時間・会場等は未定です。

- 同窓会各支部連絡先
札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。各支部への連絡先は次の通りです。
旭川支部 (1983年発足) 支部長 上杉 信一 (0166) 53-3515
帯広支部 (1985年発足) 支部長 樋渡喜久雄 (0155) 48-6938
北見支部 (1987年発足) 支部長 三浦 鶏一 連絡先は北見支部 関口 篤司さんへ (0157) 33-1742
東京支部 (1988年発足) 支部長 遠田 嘉憲 (04) 2949-6726
函館支部 (1988年発足) 支部長 知中 博史 (0138) 46-2537
釧路支部 (1989年発足) 支部長 榑部 武俊 連絡先は釧路支部 宮田佐佳衣さんへ 釧路孝仁会記念病院 (0154) 61-0159
千歳支部 (1996年発足) 支部長 二ツ川憲昭 (0123) 24-8242
©同窓会事務局 北星学園大学 総務課内 竹島、山下、大野 (011) 891-2731



# 新企画プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

## 平中弓弦スプリングコンサート パイプオルガン、その知られざる可能性…

デンマークでご活躍のパイプオルガニスト  
平中弓弦氏をお迎えします。素晴らしいオルガンの  
音色をどうぞご期待ください。

日時：2015年6月28日(日)  
午後2時から

会場：本学チャペル

### プロフィール

平中 弓弦 (ひらなか ゆづる)

札幌市出身。コペンハーゲン在住。玉川大学芸術学科オルガン専攻を経てデンマーク王立音楽院などを修了。現在、デンマーク国教会コペンハーゲン司教管区教会オルガニスト・同教区音楽監督。デンマーク王立音楽大学ほかで講師を務める。

- メルロー：使徒のミサ
- バッハ：トリオソナタハ短調第2番
- ベートーヴェン：ピアノソナタ「悲愴」より第2楽章 ほか



### スプリングコンサートの申し込み方法について

受付け開始日は6月8日(月)です。「スプリングコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ又は電話、FAX、Eメールでお申し込みください。その時点で受付けとなります(当日の参加も歓迎しますが、会場の都合上事前にお申し込みください)。

### 申し込み・問い合わせ先

〒004-8631  
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1  
北星学園大学同窓会事務局  
同窓会プロジェクト係  
TEL: 011-891-2731  
FAX: 011-892-6097  
e-mail: dousoukai@hokusei.ac.jp

友人・知人の方もぜひお誘いください。  
なお、小さなお子さんの入場はご遠慮ください。

### 講演会報告

#### 池澤夏樹講演会

## 「原発と平和の在り方について」

去る10月11日(土)午後2時から池澤夏樹さんをお迎えし、秋の講演会を開催いたしました。

核の話から始まり、核の平和利用と言われる原発の話、世界文学全集個人編集にまつわる話など、豊富な体験と知見を、もの静かでありながらも、確固とした信念に基づいてわかりやすくお話いただきました。

講演の後半で現在日本文学全集を編集し、日本文学は日本人をどう書いているか、日本人とはどういう人たちのなかか、ということに関心を持って古事記から読み始めているという話をされました。そこからわかってきたことのひとつが、日本人はどちらかというと、戦争が下手で平和の好きな人たちということだそうです。世界の文学には勇ましい英雄譚や異民族を滅ぼし尽くす武勳詩が数多くあり、日本の文学にはそれが少ないです。また、尖閣・竹島問題については、フォークランド紛争を例に引いて話されました。この戦争でイギリスとアルゼンチン両国の若者が900名以上犠牲になりましたが、負けたアルゼンチンは自国の若者を失っただけでした。戦争は一時的に国民の意識を高揚させますが、割に合わないものです。



池澤夏樹講演会  
原発と平和の在り方について

平和は難しく、バランスをとる努力が必要で、大きな船でもみんなが右に寄ったら転覆してしまふ。今の状況はそれに近いのではないかと話が残りました。

この講演については北星らしい企画でよかったですという声を数多くいただきました。北星学園は戦後60年の年に平和宣言を発表しました。来年は戦後70年となる年です。北星学園大学は平和のうちに創立50周年を迎え、昨年は同窓会も50周年を迎えました。自由に学び、世界に貢献する若い人々が集うに相応しい大学として、その存在価値が揺るぎないものになってきていると同窓生として誇りに思うところです。

### コンサート報告

#### 「石川祐支&大平由美子 ジョイント・コンサート」

去る10月26日(日)午後2時より、石川祐支さん、大平由美子さんのジョイントコンサートを開催いたしました。

「チェロは人の心臓に一番近い音」と言われます。札幌首席チェリスト石川祐支さんは、スリムでしなやかな身体で、情熱を秘めた音を難なく弓に乗せて聴く人の鼓動にときたまさせる。そして実力、経験を備えたピアニスト大平由美子さんは控えめではあるが適格にチェロに応答する。世界で最も多く演奏される曲のひとつ、美しいピアノ曲ブルツフの「コル・ニドライ op.47」は鍵盤から流れ出る音だけが耳に入るひとときの大平ワールドに引き込む。エルガーの「愛の挨拶」から始ま



がなかったのが、多くの方々には残念に思われたに違いありません。次回のご出演に期待しましょう。

### コンサート報告

#### クリスマスコンサート

## F・シューベルト「冬の旅」全曲

去る12月7日(日)午後2時より、駒ヶ嶺ゆかりさん(メゾソプラノ)、作間令子さん(ピアノ)をお迎えして、F・シューベルト「冬の旅」全24曲演奏会を開催いたしました。

「冬の旅」はW・ミラーの書いた詩を基にシューベルトが作曲したもので、彷徨う若者の(光と闇)〈幻想と孤独〉を描いています。シューベルトは当時病の床にあり、翌年25歳の若さで、人生の幕を閉じました。2人の哀しみ、苦しみに、欲びを、駒ヶ嶺ゆかりさんが声に乗せ、作間さんがそれを支え、見事に美しく織り上げました。



アンコールも大変好評で、作間さんのピアノ独奏でシューベルトの歌による11のピアノ小品集より「想い」を、最後に駒ヶ嶺さんが「雪の降るまちを」を歌い、朝降つ





英 語 教 員 会  
英 研 究

# 「北星英研」

## 英語教育に携わる卒業生による研究会



江口 均 准教授

北星英研(正式名称は「北星学園大学英文学科卒業英語教員研究協議会」という)は、本学の英文学科を卒業して英語教員になられた先生を会員として、会員相互の研修と見識の向上に努め、親睦を図り、併せて大学の発展に寄与することを目的として、1984年に卒業生によって設立されました。会の運営は、当初から卒業生で現役の英語教員の中から選ばれた事務局幹事が、業務多忙の中、時間を割いて研究会の企画・準備・案内発送から当日の運営までを担って来られました。事務局幹事の皆様のこのお働きによって、北星英研とその研究会が今日まで継続されてきたのであり、この場をお借りして、歴代の本研究協議会運営に携わって来られた先生方に敬意と感謝の意を表します。

本研究会の開催を支えてきた事務局幹事の先生方におかれましては、特に教科指導をはじめとした業務が多忙を極める状況にあり、会の運営のための時間を確保することが難しくなってきました。

このような窮状に鑑み、事務局幹事の先生方と相談の結果、本学としても卒業生の活動を支援することは重要な役割であることから、2011年度に事務局を本学内に移し、北星英研の運営を担うこととなりました。現在は、北海道札幌清田高等学校の三浦

文学部 英文学科准教授 江口 均

浩樹教諭を会長として、英語教育が専門である文学部英文学科准教授の私「江口均」が顧問として研究会を企画し、大学事務局とともに実施しています。

さて、英語教育は今、大変革の真っ只中にあります。そんな中事務局では、英語教育の新しい流れや教員に要求されているものが何であるかなど最新の情報を共有し、北海道内において英語教育に携わっておられる卒業生の先生方のお役に立てるようとの願いから、英語教育に造詣の深い先生方を講師としてお招きして、講演会やワークショップ、討論会などを行い、日頃

の授業に役に立つような情報提供と自己研鑽に努めています。

昨年度は、関西大学外国語学部教授でNHKの英語教育番組でもおなじみの田尻悟郎先生に講演を行っていただきました。本年度は、関西外国語大学英語国際学部教授の中嶋洋一先生に「自律的学習者を育てる授業とは」―生徒が英語を使いたくなる授業の進め方―と題してワークショップ形式の参加型の講演会を行っていただきました。近年の研究会には、本学卒業生以外の先生方も含め80名ほどのご参加をいただいております。これからも、多くの英語教

育に携わる卒業生の皆様のお役に立てるよう、研究会の開催や情報提供を続けていきたいと考えています。そのためにも、会員の先生方へのご案内等を確実にお届けできる情報が必要となります。今後は、郵便によるご案内から、ホームページからのお知らせやEメール・Facebook等も活用した会員の先生方の情報収集と研究会のご案内の配信等に徐々に切り替えていきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、会からの2014年度研究会の案内が届いていない先生はお手数ですが、事務局までお知らせください。

皆様のご健勝と今後のますますのご活躍を祈念するとともに、文学部英文学科を末長く応援してまいります。よろしくお願いたします。

# 北星学園大学軟式庭球部 創立50周年同窓会 開催



北星学園大学軟式庭球部は創立50周年を迎え、去る平成26年11月8日にこの同窓会がホテルロイトン札幌にて開催されました。前回の40周年から10年振りの開催となりました。軟式庭球部同窓会会長の河本雅広より挨拶があり、大学の軟式庭球部顧問である江口 均先生より祝辞がありました。参加者は招待した現役も含め100名になりました。

OBと現役との交流を深める貴重な場でもありました。その上で10年を経て同世代に共に汗と涙と笑いを共有したかけがえのない友との再会ともあって、それを心待ちにしていた人達で会場内は大いに盛り上がり、時の経つのも忘れるくらい、終始熱気

に溢れておりました。会の中で時代別にOBの現役時代の写真がスライドショーでスクリーンに映されたのも一層熱気に拍車をかけたのかもしれない。今回都合がつかず、参加できなかったOBの皆様、加えて次回開催は、5年、10年後?になるかもしれません。参加を待ちしております。

最後に今回の開催は、10年振りであり、同部員OB800名にも及ぶ情報収集が難を極めました。その連絡作業に発起人の皆様方の多大なご尽力無くしては開催の運びには至らなかったでしょう。この紙面をお借りし



北星学園大学 軟式庭球部創立50周年記念パーティー

# サークル活動ニュース

2014年7月1日〜2015年1月31日報告分

## North Star Bible Club

- ◆CAPO 大谷地 クリスマスコンサート 出演
- ◆アカペラサークル「ぼらりず」 2014 開催
- ◆演劇サークル 学校祭 公演
- ◆演舞同好会 第16回 YOSAKOI千歳 トーナメント 出演
- ◆おとしより研究会 デイサービスボランティア 参加
- ◆弓道部 第61回 全道学生弓道選手権大会 準優勝・猪早 西
- ◆平成26年度 中央地区 弓道大会 団体・優勝
- ◆札幌市民大会 優勝・猪早 西
- ◆平成26年度 北海道連盟中央地区 弓道選手権大会 優勝・高橋 謙太
- ◆平成26年度 札幌弓道連盟弓道大会 優勝・浜野 佑衣
- ◆第52回 全日本学生選抜競技ダンス 選手権大会 出場
- ◆軽音楽部 学校ライブ 開催
- ◆剣道部 第55回 札幌市民体育大会 剣道競技会 厚別区予選会 一般女子20歳未満の部
- ◆茶道部 藤女子大学学校祭・お茶会 参加
- ◆写真部 長月展 写真展 開催
- ◆手話サークル「モナミ」 学校祭手話コース 発表

- ◆障がい児者福祉研究会 託児ボランティア 参加
- ◆少林寺拳法部 第48回 少林寺拳法 全日本学生大会 出場
- ◆少林寺拳法 第43回 北海道学生 新人大会
- ◆立合評議会女子有段の部 最優秀賞・脇 菜摘
- ◆書道部 第20回 光芒書展 開催
- ◆吹奏楽部 第39回 定期演奏会 開催
- ◆ストリートダンスサークル流 SAPPORO DANCE FACTORY 出演
- ◆創作研究会 おでかけライブin札幌 つどい64 参加
- ◆武田流中村派合気道部 第10回 北海道学生選抜 合気道大会 出場
- ◆選抜部女子総合乱取試合 準優勝・山形 真美
- ◆第39回 学生合気道選手権大会 (全国大会) 出場
- ◆USA Regional Competitions 2015 出場 団体・1位
- ◆All Japan Cheer Dance Championship 2014 出場
- ◆All Japan Cheer Dance Championship 2014 北海道予選 団体・1位
- ◆地域福祉研究会 琴似町内会祭り 参加
- ◆軟式庭球部 第69回 三笠宮賜杯 全日本学生ソフトテニス選手権大会 出場
- ◆第46回 秋季北海道学生ソフトテニス大会 団体戦(男子) 1位(2部昇格)
- ◆2014年度 北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会 出場

- ◆バレーボール部 第41回 原崎杯北海道大学男女バレーボールリーグ秋季大会 男子団体・2位
- ◆ハンドボール部 高松宮記念杯 男子第57回・女子第50回 平成26年度 全日本学生ハンドボール選手権大会 出場
- ◆平成26年度 第46回 北海道学生ハンドボール 秋季リーグ戦 団体(女子) 優勝
- ◆フットサル同好会 全日本大学フットサル大会 出場
- ◆全日本大学フットサル大会 北海道予選 団体・優勝
- ◆文学研究会 北海道フックフェス 参加
- ◆放送研究会 第31回 NHK全国大学放送コンテスト 出場
- ◆ボランティア・コパン部 農家と料理人のハーベストフェスティバル 参加
- ◆ボランティアサークル@e 北海道マラソン2014参加
- ◆ラクロス部 第16回 ラクロス全日本ユース選抜選手権大会 出場
- ◆陸上競技部 第69回 空知陸上競技選手権大会 (男子) 400m 1位・高田 知輝
- ◆男子800m 1位・小野 朗
- ◆男子1500m 1位・杉野 伸樹
- ◆女子やり投げ 2位・堀内 美里
- ◆男子砲丸投げ 1位・大友 昂陽
- ◆女子砲丸投げ 2位・大友 昂陽
- ◆第35回 北海道ロードレース (男子) 5km 1位・杉野 伸樹
- ◆第1回 ベジタブル野幌マラソン (男子) 5km 2位・杉野 伸樹

- ◆女子5km 1位・坂 彩葉
- ◆2位・斎藤 萌恵

紙面の関係上、体育系サークルは上位成績及び全国大会並びに、それに準ずる大会に出場したサークルのみを掲載しています。



本日から同窓会の一員となられた皆様、ご卒業おめでとうございます。現在、同窓会では若い世代の方々の力を必要としています。卒業されてから、忙しい日々の中で大学の事を思い出す時間が無いかと思えます。そして、新天地で生活の際に住所変更をされている方が多くいらっしゃいます。ぜひ、同窓会事務局へご一報ください。いつまでも、北星学園大学・北星学園大学短期大学部は貴方の母校であり、同窓会は貴方の隣人です。

「大谷地だより」は同窓生への情報発信の一つです。一人でも多くの方に今の大学を知ってもらい、同窓会を知ってもらい、同窓会を知ってもらうことにより一層皆様の励みになることを祈っております。例年10月の第3土曜日に行われる総会・懇親会は、同窓生同士が交流を持つ貴重な機会です。歳の差を気にせず、ぜひご学友をお誘い合わせの上、ご参加ください。同窓生ひとりずつの繋がりが同窓会活動を支えています。

(同窓会事務局 山下)